

## 第6章

---

# 目標値の設定と計画の進行管理

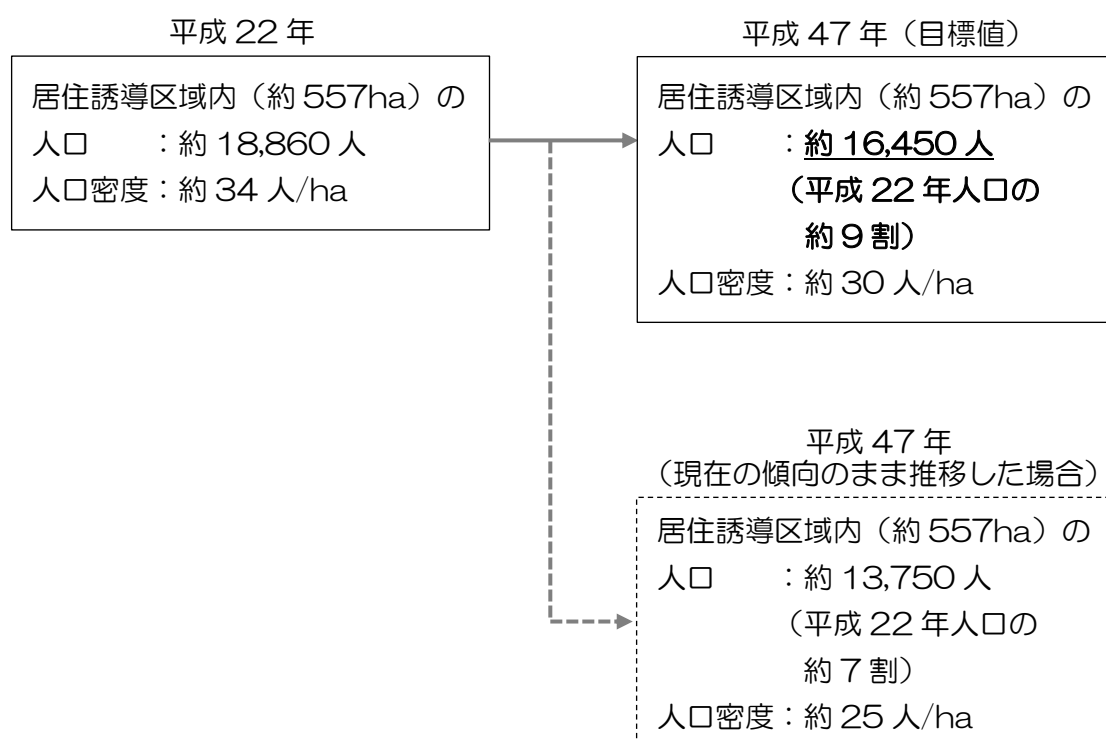


## 第6章 目標値の設定と計画の進行管理

### (1) 定量的目標の設定

- 本計画においては、今後も市街地の大きさを維持しながら、居住誘導区域において「住みたい」「住み続けたい」と選ばれるような魅力をもった住環境整備を進め、近隣市町への人口流出を食い止めていくことを目指しています。
- 居住誘導区域内の人口は、平成22年時点では約18,860人程度であり、区域全体の面積に対する人口密度の平均は約34人/haとなっていますが、現在の傾向のまま何の対策も講じずに人口減少が推移した場合、平成47年には居住誘導区域内の人口は約5,100人減少し、人口密度は約25人/haとなる見込みです。
- そこで、本計画では、各誘導方針に沿って積極的に住環境の整備を進めるとともに、府中市総合計画における施策の推進や他分野との連携を強化していくことで、近隣市町への人口流出を抑制し、現在の人口を概ね維持することを目標に、平成47年時点の居住誘導区域内の人口を目標値として設定します。

□居住誘導区域内の目標人口及び目標人口密度



※平成22年時点の人口：国勢調査メッシュ人口より

※将来推計人口：国勢調査メッシュ人口および国立社会保障・人口問題研究所の将来推計をもとに推計

## (2) 人口流出の抑制に向けた他分野との連携によるソフト施策の推進

- ・本計画の策定により、都市機能の適正な立地や居住誘導区域内の居住環境を優先的に改善するために都市基盤の整備などを行います。その効果を発揮するためには時間を要することが考えられます。そのため、早期に人口減少の抑制を図るため、下記に示す各分野と連携した施策の推進を図ります。

### ① 雇用創出や情報発信による移住・定住の促進

- ・「ものづくり産業」を中心に、地域特性を生かした魅力ある企業と蓄積された技術を生かして、新たなビジネス活動に積極的に挑戦する産業環境を創出することにより、多様な働く場の充実を促進します。また、本市の優れたものづくりの技術をPRし、「府中ブランド」の知名度を向上させ、首都圏アンテナショップを有効に活用し、戦略的かつ効果的なプロモーションの展開により、Uターン・移住者希望者の就職に関する情報提供や相談事業などを実施します。
- ・食・歴史・文化のみならず、産業観光・体験観光を振興し、市民・地域・企業が一体となり「ものづくり」のもつ魅力を効果的に情報発信することにより、観光資源としての価値を向上させ、交流人口の増加と回遊性を高め、魅力あるまちづくりを推進します。

### ② 地域包括ケアシステムの構築や医療提供体制の充実による住民サービスの向上

- ・高齢者が地域でいつもまで安心して住み続けるために、高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメント及び地域ケア会議等を通じたケアマネジメント支援など、生活圏ごとに地域包括ケアシステムの構築に向けて、効果的・効率的な活動を展開することにより将来に渡り住みやすいまちづくりを推進します。
- ・市外からの医師招聘や既存医療機関の承継及び新規医療機関の開設支援、さらには将来、医師として市内の医療機関等に勤務される方を対象とした医師育成奨学金奨学生募集事業により、市民の生活を支える医療提供体制の充実を図ります。

### ③ 出産・子育ての環境づくり

- ・女性が安心して子育てできるまちを目指し、結婚、妊娠、出産に対する若者の意識醸成に努めるとともに、周産期における相談・支援の強化を図り、「府中市で子育てしてよかった」と実感できる子育て環境づくりに努めます。
- ・コミュニティ・スクールの導入促進により、学校・家庭・地域が一体となって、地域で子どもたちを育む学校づくりを推進します。

### ④ 行政・住民・企業の協働によるまちづくりの推進

- ・地域の産業や郷土の良さを学ぶため、地域・企業の人材や資源と連携し、郷土を知り、愛着を深める学習を推進し、府中市の「ものづくり」産業に対する理解を深め、技術を知り・学べる機会づくりを進めることで、若者の定住促進を図ります。
- ・家庭や地域、職場の身近な人同士が信頼して助け合い、交流できる場や機会を増やすことで地域の絆を高めるとともに、町内会、民生委員児童委員などの関係団体と協力した見守り活動の充実、地域のボランティア、NPO等の団体の育成・支援を図ることにより、地域コミュニティの活性化や定住・移住促進を図ります。

### (3) 計画の進行管理

- 本計画では、都市計画マスタープランの将来展望時期を見据えて、概ね20年後の平成47年（2035年）を目標年次として、都市計画マスタープランで掲げたコンパクトなまちづくりの実現を目指して、誘導方針を位置づけました。
- 今後、方針に沿った誘導施策を検討・実行していく中で、長期的な視点の中で効果が発揮できるよう、継続して集約型都市構造に向けて取り組みを進めていきます。
- このため、社会経済情勢の変化や上位計画・関連計画の見直しなどを踏まえ、より実効性の高い計画とするため、概ね5年を目処に、PDCA サイクルによる計画の見直しをおこないながら目標の達成を目指していきます。
- なお、進行管理においては、本計画策定を目的に立ち上げた府中市都市再生協議会を開催し、所定の手続きを経て計画の見直しを行います。

#### □PDCA サイクルによる進行管理

